

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

沖縄県教育委員会（沖縄県）

学校名	教育利用・校務利用	実践事例の概要	様式
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	①「生成AIパイロット校ガイドス／勉強会」 ・パイロット校の役割、今後のスケジュール、生成AIの特徴について知る ・パイロット校の枠割り(再)、生成AIの理解（実技体験）	B-1
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	②「職場体験学習お礼状の作成・添削」 ・職場体験学習でお世話になった事業所へ送付する学校からのお礼状を作成	B-2
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	③「生成AI利活用同意書の作成・添削」 ・生成AIを授業等で活用するための「保護者同意書」を作成	B-3
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	④「教材作成①（英語リーディングトレーニング用教材）」 ・条件入力し、リーディング本文と質問文を生成AIが作成 ・「リーディング本文と質問文」をGoogleフォームで教材化	B-4
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	⑤「学校評価（保護者）アンケートの分析」 ・学校評価アンケート(12月)の保護者記述欄を中心に分析と対応策の提案	B-5
嘉手納中学校 【指定校】	校務利用	⑥「教材作成②（人物説明を目的とする教材）」 ・人物を画像作成し生徒用配布スライドへ加える	B-6
嘉手納中学校 【指定校】	教育利用	⑦「生成AIとは？（生徒向け導入授業）」 ・生成AIの基本を理解し、正しい使用方法を身につける	B-7
嘉手納中学校 【指定校】	教育利用	⑧「三単現“s”の学習《英語》」 ・三単現“s”に気をつけながら、人物の説明を行う	B-8
嘉手納中学校 【指定校】	教育利用	⑨「敬語の学習《国語》」 ・短文添削を通して、敬語を意識しながらやや長めの文章を書く	B-9
嘉手納中学校 【指定校】	教育利用	⑩「部の課題について考える《キャプテン会》」 ・部の課題について考え、次年度に向けてのチーム作りへ活かす	B-10

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

沖縄県教育委員会（沖縄県）

学校名	教育利用・校務利用	実践事例の概要	様式
本部高校【指定校】	教育利用	⑪「絵本を作ろう」 ・生成AIの利活用を通して生成AIの仕組みを理解する。 ・生徒自身が考えていることを整理し表現する力を養う。	B-11
本部高校【指定校】	教育利用	⑫「部活動の探究で利用」 ・部活の企画書を生徒自ら生成AIで作成する。	B-12
本部高校【指定校】	教育利用	⑬「文章の添削を行う(Excelで出力まで)」 ・卒業式の送辞の添削作業を生成AIに手伝ってもらう。	B-13
本部高校【指定校】	教育利用	⑭「故事成語×画像生成AI」 ・2年進学クラスの古典探究の授業にて故事成語を学習後、故事成語を画像生成に仕立て発展学習の足掛かりとして活用した。	B-14
本部高校【指定校】	教育利用	⑮「困り感のある生徒への対応相談」 ・特別な支援を要する生徒に対しての指導計画を生成AIを使い素案を練ってみる。	B-15
本部高校【指定校】	教育利用	⑯「小論文対策(進学指導)」 ・進路指導の小論文対策に生成AIを活用する。	B-16
本部高校【指定校】	校務利用	⑰「生成AI活用同意書を生成AIで作成」 ・生成AIを活用するための保護者への同意書を、生成AIを活用して作成する。	B-17
本部高校【指定校】	校務利用	⑱「生成AIの活用の情報共有」 ・パイロット校として生成AIの実践事例の情報共有を含め、生成AIを活用する際のハブ的活動を行う。	B-18
本部高校【指定校】	校務利用	⑲「教員による勉強会」 ・研修で学習してきた生成AIについて発表をかねて講話を開いた。	B-19

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

沖縄県教育委員会（沖縄県）

学校名	教育利用・校務利用	実践事例の概要	様式
高原小学校 【協力校】	校務利用	⑳「 児童会役員選挙の原稿添削で活用 」 ・選挙に臨む児童（立候補者、推薦人）の原稿を、生成AIを活用して添削	B-20
高原小学校 【協力校】	校務利用	㉑「 単元のイメージ画像の作成 」 ・単元のイメージを膨らませるために、生成AIを活用して画像を作成	B-21
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉒「 パフォーマンス課題の参考例 」 ・学習の見通しを持たせるために、パフォーマンス課題に対する答えを作成	B-22
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉓「 授業の「疑問」を聞いてみる 」 ・担任の監督のもと、学習に対する疑問を生成AIに聞く	B-23
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉔「 授業の振り返りを要約 」 ・児童全員の振り返りを生成AIを活用してまとめ、次時に繋げる	B-24
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉕「 生成AIとは？（導入授業） 」 ・情報活用能力と生成AIの基本を理解し、正しい使用方法を身につける	B-25
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉖「 対話型生成AIの導入 」 ・「みんなの生成AIコース」を活用して、対話型生成AIを使ってみる	B-26
高原小学校 【協力校】	教育利用	㉗「 対話型生成AIを授業で活用（社会） 」 ・情報収集や整理・分析の場面で対話型生成AIを活用する	B-27

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

沖縄県教育委員会（沖縄県）

学校名	教育利用・校務利用	実践事例の概要	様式
北美小学校 【協力校】	教育利用	<p>⑳「生成AIとは？（導入授業）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力と生成AIの基本を理解し、正しい使用方法を身につける 	B-28
北美小学校 【協力校】	教育利用	<p>㉑「なぜ年齢制限があるの？①（酒・たばこ）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えた理由をGoogleフォームでまとめ、生成AIを活用して要約する。 	B-29
北美小学校 【協力校】	教育利用	<p>㉒「みんなのコード（みんなで生成AIコース）を使ってみた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの生成AIコース」を活用して、対話型生成AIを使ってみる 	B-30
北美小学校 【協力校】	校務利用	<p>㉓「総合的な学習の時間の内容とSDG'sの関連項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の総合的な学習の時間の内容とSDG'sの関連項目を生成AIに聞く 	B-31
北美小学校 【協力校】	教育利用	<p>㉔「一年間の思い出：作文利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成AIを活用して、一年間の思い出の作文のたたき台を作成する 	B-32

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ①「生成AIパイロット校ガイダンス／勉強会」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 生成AIパイロット校ガイダンス／勉強会
<p>【入力したプロンプト】</p> <p>#命令書: あなたは、プロの中学校の先生です。 以下の制約条件と入力文をもとに、一学期の自分が受け持っているクラスの通知表の所見を出力してください。</p> <p>#制約条件: ・生徒は中学1年生 ・出力する所見は、簡潔に(200文字程度) ・生徒がポジティブに感じられる内容</p> <p>#入力条件: 学年順位: 145名中23位 部活: 空手道部、県大会において女子個人組手優勝 出席状況: 皆出席 授業態度: 英語の授業で積極的に発言。評価も5段階中、5 備考: 自分の役割は一生懸命だが、周りへの支援等を含めかかわりが少し弱い</p>		<p>【生成された所見】</p> <p>あなたは学業成績も優秀で、学年145名中23位の素晴らしい成果を収めました。空手道部では県大会での女子個人組手で優勝するなど、スポーツ面でも卓越した才能を発揮しています。授業では特に英語での積極的な発言が目立ち、その姿勢は他の生徒にとっても良いお手本です。今後は周りの生徒との協力や関わりを深めることで、さらに多くのことを学び、成長していくことでしょう。これからもあなたの活躍を期待しています。</p>		<p>【パイロット的な取組の段階】</p> <p>① 生成AI自体を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】</p> <p>講師: 大城 智紀 先生 沖縄県教育庁 県立学校教育課 教育DX推進室 指導主事 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー</p> <p>【生成AIパイロット校 ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット校の役割について ・今後のスケジュール ・生成AIの特徴をテキストや画像生成を通して知る <p>【生成AI勉強会(本部高・嘉手納中・北美小・高原小 職員対象)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット校の役割(再) ・スケジュール(再) ・生成AIについて (得意なこと・苦手なこと・プロンプト入力 についての注意点等) ・生成AI(ChatGPT)を使ってみる(生徒所見) <p>【入力したプロンプト】 左記の通り</p>

実践のふり返り

【成果】プロンプト入力の仕方を学ぶことができた。初めてChatGPTを使う職員がほとんどで「校務でかなり使える！」という声が多く聞こえた。

【課題】プロンプト入力例を参考にしながら、今後も繰り返し入力練習を重ねる必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ②「職場体験学習お礼状の作成・添削」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 職場体験学習お礼状の作成・添削
----	-------	-------	---	-------------------------

〒[あなたの住所]

[日付]

[事業所の名称]

[担当者のお名前]

[事業所の住所]

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたびは弊社の学習プログラムにおいて、「職場体験学習」の受け入れを快諾いただき、誠にありがとうございました。貴社のご協力のおかげで、学生たちは実践的な経験を積むことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

貴社のご厚意に心より感謝申し上げます。学生たちは貴社の方針や業務に触れ、貴社のプロフェッショナリズムに深い感銘を受けました。これからも、このような素晴らしい機会を提供していただけることを願っております。

また、時候の挨拶といたしまして、沖縄はまだ暑いこの季節、どうぞご自愛いただきながらお過ごしいただければ幸いです。

貴社のご発展とますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

敬具

[事業所名]
職場体験担当者様

嘉手納町立嘉手納中学校
校長 奥志平 洋子

「職場体験学習」のお礼

初冬の候、皆様におかれましては益々ご清神のことと心よりお喜び申し上げます。このたびは、先日の職場体験学習において、温かいご受入れと丁寧なご指導・ご助言をいただき、心より感謝いたします。貴重な体験のおかげで、生徒たちは仕事の大変さや人間としての価値を学ぶ絶好の機会となりました。そのお手伝いをいただいた皆様に感謝の意を表し、心からお礼申し上げます。

現在、学校では生徒たちが得た貴重な経験をもとに、職場体験学習のまとめを進めております。生徒たちが自分の将来に向き合う助けとなるよう、充実した事後学習となるよう努めてまいります。

今後の皆様の益々のご繁栄とご健康を心よりお祈り申し上げます。お手紙ではございますが、お礼と感謝の気持ちを伝えできればと思います。

追伸

生徒たちのお礼状も一緒に同封いたします。ご一読いただけますと幸いです。

令和5年12月吉日

【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】

職場体験学習でお世話になった事業所へ送付する学校からのお礼状を作成した。

【入力したプロンプト】

①「職場体験学習」を受け入れてくれた事業所へのお礼状(公文)を作成したい

②上記のお礼状に「時候」のあいさつをいれたいと思います。今は12月ですが、沖縄はまだ暑いです。

③[添削して下さい] 学校の公文として、職場体験学習の受け入れ事業所へお礼を伝えたい。やわらかい表現でお願いします。

↑ 生成AIの添削や提案を受けて完成したお礼状

実践のふり返り

【成果】数回のやり取りを通してお礼状を作成することができた。お礼状の参考資料もなくゼロからの作成だったが、20分程度で完成することができた。生成AIからの提案文をベースに自分自身の考えを加えたり、表現を別の内容に書き換えたりしながら進めることができた。

【課題】プロンプト入力をさらに工夫することで、より自分のイメージに近い内容が提案されると感じる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ③「生成AI利活用同意書の作成・添削」

校種	小・中・高	校務 授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成, 画像生成, 動画生成	実践タイトル: 生成AI利活用同意書の作成・添削
----	-------	-------	---	--------------------------

ChatGPT
ご提供いただいた同意書の構成と内容は、非常に適切で明確に記載されています。以下にいくつかの添削と改善の提案をさせていただきます。

- 季節の挨拶:** 「中冬の候」は時期によって変更する必要があるかもしれませんが、例えば、「初夏の候」や「秋深まる候」など、配布時の季節に合わせて良いでしょう。
- 文体の統一:** 文書全体を通して、敬語の一貫性を保つことが重要です。例えば、「子どもたち」は「生徒たち」に統一すると、よりフォーマルな印象になります。
- 内容の精密化:** 「生成AIは、人工知能が自動的に文章や画像などのコンテンツを作成する技術です。」という文は非常に良い説明ですが、「子どもたちの安全と教育の質を保证するために、特定のガイドラインに従って使用します。」と加えると、保護者に対する安全への配慮を強調できます。
- ルールの明確化:** 「生成AIは、教育目的のみ使用します。」という部分に、具体的な教育

- リスクの説明:** 「生成AIは、不適切な内容や誤った情報を生成するリスクもあります」という部分は非常に重要です。ここに「そのため、教師は生成AIを通じて提供される情報の検証と指導を行い、生徒の理解を深める役割を担います」という文を追加することで、保護者に安心感を与えることができます。
- 個人情報の保護:** 「個人情報や連絡先などを教えたり、他人に教えられたりしないように注意します」という部分は、個人情報保護の観点から重要です。ここに「学校としても、生成AIを用いるにあたり、生徒の個人情報の安全とプライバシーの保護に最大限の配慮を行います」という文を追加して、学校側の責任と対策を明示すると良いでしょう。

署名欄の案内: 最後に、「同意される保護者の皆様は、下記の署名欄にご署名の上、学校までご提出ください。貴重なご意見やご質問がある場合には、お気軽に学校までお問い合わせください」という文を追加して、保護者からのフィードバックや質問を歓迎する姿勢を示すと良いでしょう。

この同意書は、文部科学省の指定するAIパイロット校としての新しい試みに対する保護者の理解と協力を求めるための重要な文書です。提案した修正を加えることで、より明確で理解しやすい内容となると考えられます。

生成AIの添削や提案を受けて完成した同意書

令和6年1月16日

保護者各位

生成AI利活用の保護者同意書について（依頼）

嘉手納町立嘉手納中学校
校長 奥志平 洋子
(公印省略)

中冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たちが生活しているこの社会は「激動の時代」に入っています。何が起きるか予測が困難な時代です。その激動の時代を乗り越える資質・能力を備えるために、学校教育は大きな転換期を迎えています。現在、文部科学省が大きく掲げている教育改革のひとつとして、1人1台のGIGA端末が整備されました。この度、本校は文部科学省より、先進的な教育技術を導入する生成AIパイロット校に指定されました。この機会を通じて、生徒たちにも生成AIの理解を促してもらいながら、教育活動にも段階的に使用を図っていきたくと考えています。この技術は、生徒たちの創造性や思考力を刺激し、教育プロセスの質を大いに高めることが期待されます。さらに、生徒一人ひとりに合わせた学習体験を提供することも可能になります。しかしながら、このような新しい技術を学校教育に導入するには、保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。そのため、生成AIの使用に関する同意をお願いする次第です。

生成AIは、人工知能が自動的に文章や画像などのコンテンツを作成する技術です。生成AIは、教育や創造性の向上に役立つ可能性がありますが、同時に不適切な内容や誤った情報を生成するリスクもあります。そのため、教師は生成AIを通じて提供される情報の検証と指導を行い、生徒の理解を深める役割を担います。そのため、生成AIの使用に関する以下のルールを設けます。

- 生成AIは、教師の指示や監督のもとでのみ使用します。教師は、生成AIが作成したコンテンツの内容や品質を確認し、必要に応じて修正や削除を行います。
- 生成AIは、言語学習のサポート、創造的な作文活動、科学的な探求などの教育目的でのみ使用します。個人的な用途や不適切な内容での使用はしません。
- 生成AIは、自動生成されたコンテンツを提供するものであり、必ずしも正確性や信頼性が保証されるものではありません。生成AIから得た情報は、自分で確認や検証を行います。
- 生成AIは、安全に気を付けて使用します。不快な内容や危険な行為を促すようなコンテンツは避けられます。また、個人情報や連絡先などを教えたり、他人に教えられたりしないように注意します。学校としても、生成AIを用いるにあたり、生徒の個人情報の安全とプライバシーの保護に最大限の配慮を行います。

つきましては、学校でお子様が生産AIを使うことに同意される保護者の皆様は、下記の署名欄にご署名の上、学校までご提出ください。

1月22日(月) 〇〇

生成AI利活用の保護者同意書

生成AIの利活用を(同意する 同意しない)。 *該当する項目を○で囲ってください。
令和6年 1月 日

生徒氏名: _____
保護者氏名: _____

【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】

生成AIを授業等で使用するために「保護者同意書」を作成した。数回のやり取りを通して20分程度で同意書を完成させることができた。

【入力したプロンプト】

- 生成AI使用についての保護者の同意書を作成したい。同意書のはじめには、季節の挨拶をそえながら、「日頃の学校教育への理解と協力に対してありがとうございます」という気持ちを付け加えてほしい。
- 今回、文科省からパイロット校に指定されていることもふれ、そのための生成AIの使用を図っていることを付け足してほしいです。
- 提案をもとに同意書を作成しました。添削をお願いします。

実践のふり返し

【成果】数回のやり取りを通して同意書を作成することができた。生成AIを使わなかった場合はかなり時間をかけて作成することになったはずだが、文書を整える時間も含めて20分程度で完成できた。

【課題】まだ会話的なやり取りを通してしか生成AIを扱えていない。プロンプト入力の内容をさらに工夫する必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ④「教材作成①（英語リーディングトレーニング用教材）」

校種	小・中・高	校務 授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:教材作成【英語リーディングトレーニング用】
----	-------	-------	---	------------------------------

#命令書：
あなたは、プロの中学校の先生です。
以下の制約条件をもとに、
中学1年生を対象にした英語の長文問題を作成してください。

#制約条件
・生徒は中学1年生
・出力する英文は、200文字程度
・難易度はやや低め

#入力条件
文法: 三人称単数現在形、wh疑問詞
場面設定: アメリカ人のLisaと日本人のEriが、韓国からやって来た転校生Bogum
について話している
人物特徴: LisaとEriはKポップアイドルが好き。Bogumは身長が高く、バスケットボ
ールが上手。

↓

Text:

Lisa and Eri are talking about Bogum, the new student from Korea. Lisa says, "Bogum is really tall and good at basketball." Eri asks, "Does he like K-pop music?" Lisa answers, "Yes, he loves it. He's a big fan of BTS."

Questions:

- Where is Bogum from?
- What sport is Bogum good at?
- Does Bogum like K-pop music?
- Which K-pop group is Bogum a fan of?

生成AIの提案を受けて完成したリーディング教材→

Reading Training①

英文を読んで問題に答えましょう。

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

Q1: Where is Bogum from? * 1ポイント

Lisa and Eri are talking about Bogum, the new student from Korea. Lisa says, "Bogum is really tall and good at basketball." Eri asks, "Does he like K-pop music?" Lisa answers, "Yes, he loves it. He's a big fan of BTS."

He is from America.

He is from Japan.

He is from Korea.

Q2: What sport is Bogum good at? * 1ポイント

Lisa and Eri are talking about Bogum, the new student from Korea. Lisa says, "Bogum is really tall and good at basketball." Eri asks, "Does he like K-pop music?" Lisa answers, "Yes, he loves it. He's a big fan of BTS."

回答を入力

Q4: Which K-pop group does Bogum like? * 2ポイント

Lisa and Eri are talking about Bogum, the new student from Korea. Lisa says, "Bogum is really tall and good at basketball." Eri asks, "Does he like K-pop music?" Lisa answers, "Yes, he loves it. He's a big fan of BTS."

回答を入力

送信

フォームをクリア

【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】

生成AIとのChatのやり取りで「英語授業での活用方法」をたずねると、

5. リーディング教材の生成：レベルに合わせた短い物語や記事を生成し、読解力を鍛えるのに役立てることができます。

との回答をもらい、リーディング教材を作成した。生成AIが提案した「本文と質問」をGoogleフォームで教材化し、授業で活用した。

生成AIが作った本文はプロンプトの「条件」を満たしているため、特に手を加えることなく教材化できたが、質問4の英文は「Which」という語から質問が始まったため、これまでの学習内容を考慮し、「What K-pop group does Bogum like?」に変更した。

【入力したプロンプト】
左記の通り

実践のふり返り

【成果】プロンプト入力を工夫することで、指定した「場面設定」で英語本文及び質問を数分で作成できた。難易度や語数を変更して作成依頼すると、同じ場面設定で異なるレベルの本文が作られ、子どもの学習状況や既習レベルに合わせて簡単に問題が作成できることがわかった。

【課題】生成AIが作った英文は再度見直し、本文と質問内容が合致しているか、自分が使わせたいターゲット文法を意図的に使えるかどうかを調整する必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ⑤「学校評価（保護者）アンケートの分析」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:保護者アンケートの分析
<p>グループ1: 教育と指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポジティブ: 先生方の努力が伝わる、楽しい学校生活が送れている。 ・ ネガティブ: 注意が繰り返されるが改善されない、中学校での小学校での教育手法の継続がない、テトルの利用方法が不明確。 <p>対応策: 教育方法の見直しを行い、小学校での良い教育手法を中学校にも取り入れる。テトルの利用方法に関する説明会を開く。</p> <p>グループ2: 生徒の参加とモチベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポジティブ: 生徒のモチベーションを保つためのリーダーシップ支援の要望。 ・ ネガティブ: 学習発表会での全員の不参加。 <p>対応策: 生徒がイベントに参加しやすい環境を作る。リーダーシップ能力を持つ生徒へのサポートを強化する。</p>				<p>【パイロット的な取組の段階】 ② 使い方を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】 12月にとった「学校評価アンケート(保護者の声)」を生成AIに分析と対応策を提案してもらった。</p> <p>【入力したプロンプト】</p> <p>#命令書: あなたは優秀な中学校の管理職です。 以下の制約条件、分析対象データをもとに、分析結果を出力してください。</p> <p>#制約条件: ・分析対象データをKJ法でまとめること ・グループは5つ程度にまとめること ・ポジティブな回答とネガティブな回答を抽出し、さらにそれらの対応策を提案すること</p> <p>#分析対象データ: (アンケートのテキストデータ)</p>
<p>上記のように[グループ3安全と健康]、[グループ4親とのコミュニケーション]、[グループ5地域との関係]のテーマで分析・対応策が提案された。</p>				

実践のふり返し

【成果】生成AIを使用し、記述回答テキストを迅速に分析し、5つのグループに分けて提示した。この分析結果を基に、職員間で成果、課題、対応策について議論を行えた。グループ分けされたデータから議論を始めることができたため、討議の効率が向上した。

【課題】今後は生成AIを用いたアンケート分析を継続し、より効果的なプロンプトの設計について改善を重ねる必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<校務利用> ⑥「教材作成②（人物説明を目的とする教材）」

校種	小・中・高	校務 授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:教材作成【人物説明を目的とする教材で使用】
----	-------	-------	---	------------------------------

YOU
以下の指示に従って、イラストを作成してください。

白人男性（ニュージーランド出身）、ラグビーのユニフォームを着用している。年齢は16歳ぐらい。ビーフを食べている様子を描く。



YOU
以下の指示に従って、イラストを作成してください。

アジア女性（日本出身）、年齢は15歳ぐらい。服装は中学生らしい普段着で。好きな食べ物は寿司。好きなことはテレビを見ること。そういった情報を含めて描いてほしい。



三進現象, Writing practice

2. イラストからわかる内容を英語で説明しましょう。

自力英文

His name is Joshua. He

生成AIに文法チェックしてもらった内容 (コピペ)

↑生成AIが作った6つのイラストを教材に使用

【パイロット的な取組の段階】 ② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】

授業で使いたいイラストをChatGPTのDALL-Eで作成。思い描いている人物像をプロンプト入力。数十秒後にイラストを2パターンずつ提案された。それらを生徒用配布教材（Googleスライド）へ貼り付けた。

【入力したプロンプト】

・以下の指示に従って、イラストを作成してください。
白人男性（ニュージーランド出身）、ラグビーのユニフォームを着用している。年齢は16歳ぐらい。ビーフを食べている様子を描く。

・以下の指示に従って、イラストを作成してください。
アジア女性（日本出身）、年齢は15歳ぐらい。服装は中学生らしい普段着で。好きな食べ物は寿司。好きなことはテレビを見ること。そういった情報を含めて描いてほしい。

実践のふり返り

【成果】これまで人物説明を目的とするイラスト等をWeb上で探すのはとても時間がかかった。生成AIを用いることでイメージ通りのイラストを作成し教材化できた。

【課題】グローバルイメージとして「日本人」は「着物を着用している」や「畳間とちゃぶ台を使う」といったやや昔のイメージが残っており、日本人少女の画像を作る際に苦戦した。しかし「服装は中学生らしい普段着で」という内容を挿入することで、上記のような現代の日本人少女が作られた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<教育利用> ⑦「生成AIとは？（生徒向け導入授業）」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:生成AIとは？(導入授業)
----	-------	-------	---------------------------------------	----------------------

学年・教科	1年・総合	単元等	生成AIって何？(導入授業)
本時のねらい	生成AIの基本的理解深め、正しく使える姿勢を養う。		
使用するICT教材	Googleフォーム・Chat GPT(授業者のみ)		
授業の流れ			
講師:大城 智紀 先生 [沖縄県教育庁 県立学校教育課 教育DX推進室 指導主事 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー]			
1. 講師の自己紹介	7. スマートウォッチの広告(信用に欠ける内容)	8. 全ての情報が正しいわけではないということに気づく	9. AIと生成AIの違いについて
2. 情報活用能力について	10. ChatGPTを使ってキーワードから画像を生成	11. 上手に使いながら様々なことに対応する力を育てるの重要性を知る	12. 今日のまとめ
3. BBCの紹介(信頼できる放送局)			
4. スパゲッティの木 動画視聴			
5. 動画についての意見交換(個→ペア・グループ)			
6. 全体で動画についての意見交換			
授業のポイント			
講師はBBC放送がエイプリルフール用に制作した「スパゲッティの木」の映像を用いて、世の中に発信される情報が全て正しいわけではないことを生徒たちに教えた。多くの生徒はBBCという信頼できる放送局が取り扱った情報であることや、講師が紹介する情報であるため、疑いもせずに「スパゲッティは木からできる」と信じてしまった。この経験から、生徒たちは情報を鵜呑みにせず確かめる重要性を学んだ。また、生成AIに個人情報を入力してはいけない理由も、詐欺サイトの例を用いて理解した。講師は生徒からのキーワードを入力し、その内容に合った画像を生成AIで作成して見せた。この授業を通して、生徒たちは生成AIを活用した授業への期待を高めた。			

【パイロット的な取組の段階】
① 生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】 左記の通り
講師: 大城 智紀 先生
[沖縄県教育庁 県立学校教育課 教育DX推進室 指導主事 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー]

【入力したプロンプト】
・テキスト生成と画像生成の疑似体験を行った。
・プロンプト入力は、講師が聞き取り、入力し、その様子を電子黒板上で確認しながら、内容に合わせて、入力するプロンプトを生徒から引き出しながら、講師が入力する形で行った。
・画像生成では、プロンプトを入力し、繰り返し修正することで、イメージに近い画像が生成できること。
・テキスト生成でも、同様に、プロンプトの入力を繰り返すことで、求めている内容に近づけることを体感した。



フェイク動画視聴後に情報の信憑性について考える。(個→グループ)
ファクトチェックの重要性を学ぶ。

実践のふり返し
【成果】生徒は、情報に対するファクトチェックの重要性を学んだ。また、なぜ、生成AIに個人情報を入力してはいけないかということも詐欺サイトの例から理解できた。授業を通して、生成AIへの興味関心が高まった。
【課題】生徒が挑戦したい「画像生成」を授業で取り入れるためにも、保護者同意書の回収や画像生成機能をもつ生成AIの整備を整える必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<教育利用> ⑧「三単現 “s” の学習《英語》」

校種	小・中・高	校務・授業	みんなで生成AIコース(ChatGPT) テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:《英語》三単現 “s” の学習
----	-------	-------	--	------------------------

学年・教科	1年・英語	単元等	三単現 “s” の学習(2時間構成)
本時のねらい	三単現の “s” に気をつけながら、イラストを参考にその人物の説明ができる。		
使用するICT教材	スライド・スプレッドシート・Chat GPT(みんなで生成AIコース)		
授業の流れ			
【1時間目】		【2時間目(本時)】	
1. Greetings / めあての確認・自己評価シート記入 2. 生成AIの使い方についてのおさらい 3. 課題の説明 4. 課題①に取り組む		1. Greetings / めあての確認 2. 各自のペースで課題に取り組む 3. 課題①が終わったら提出⇒課題②に取り組む 4. 自己評価シートの記入	
授業のポイント			
【課題①の進め方】			
①スライドにある人物イラストを参考に3文～5文程度自力で英文を書く。 ②自力英文をコピーし生成AIへ添削依頼。 ③生成AIが添削した内容をスライドへコピー。 ④自力英文とAI添削(AIアドバイス含む)を比較し、自分の間違いを見つけ工夫しながら訂正する。 ①～④を繰り返し6つの課題に取り組む。 生徒は各自のペースで課題に取り組むことができた。中間層以上の生徒は学習スピードが向上し、提出されたスライドからは、三単現の「s」を忘れることが減少していることが確認できた。一方で、学習が遅い生徒(Slow Learners)には、教師や学習支援員が個別にサポートし、彼らも効果的に課題に取り組むことができた。課題①が完了した後、生徒たちは課題②に取り組んだ。この課題②では、生徒が自分の興味ある人物などを選び、それについて自由に表現する内容とした。課題②でも、生徒たちは生成AIを上手に利用して、自発的に学習を進めることができた。			

【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】左記の通り
【入力したプロンプト】

生徒Aのプロンプト
私の英文を文法チェックしてください。Her name is Arisa. She lives in Fukuoka. She likes sushi. She is 17 years old. She speaks japanese.
Your sentences are grammatically correct. However, I would suggest a minor revision to make the sentences flow more smoothly:

- Her name is Arisa, and she lives in Fukuoka.
- She likes sushi and is 17 years old.
- She speaks Japanese.

These revisions maintain the same meaning but improve the overall readability of the sentences. Great job!

添削した英文は英語のままでもいいのですが、説明文は日本語のほうが助かります。
その後は、英文添削+日本語での解説のやり取りが続いた。

1. イラストからわかる内容を英語で説明しましょう。	4. イラストからわかる内容を英語で説明しましょう。
 <p>自力英文 His name is Jack. He lives in Canada. He speaks English and French. He likes pancakes. He plays ice hockey.</p> <p>生成AIに文法チェックしてもらった内容(コピー) • His name is Jack. He lives in Canada. • He speaks English and French. • He likes pancakes. He plays ice hockey.</p> <p>Jack / Canada / English & French</p>	 <p>自力英文 Her name is Yona. She lives in South Korea. She speaks Korean and English. She likes kimchi. She plays basketball.</p> <p>生成AIに文法チェックしてもらった内容(コピー) • She lives in South Korea.</p> <p>Yona / Korea / Korean & English</p>

1つ目の課題で三単現 “s” の指摘を受けた。2つ目以降からは三単現 “s” の間違いはみられない。しかし、スペルミスやそれ以外の間違いは確認された。

実践のふり返り
【成果】生徒はそれぞれのペースで生成AIにリアルタイムで添削指導を受けながら課題を進めることができた。また、生成AIとのやり取りを重ねるごとに文法ミスは減り、スペルミスの指摘を受けるだけの生徒がほとんどであった。
【課題】Slow Learnersにとっては、自力英文⇒生成AIの添削⇒ミスの訂正といった一連の活動は大変だった様子。しかし、それでも粘り強く続ける様子も見られた。AIがEllyという名前を「女性の名前」ととらえ、数名の生徒がElly(boy)の英作で“He”を“She”に訂正された。生徒は、その指摘を素直に受け入れ“She”と訂正した。教師が「本当にこの表現は正しいの？」とたずねると、画像の人物が男性であることに再度着目し“He”に書き換えた。その際に、以前行った生成AI導入授業を取り上げ、生成AIからの提案を確かめることの必要性についても触れることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<教育利用> ⑨「敬語の学習《国語》」

校種	小・中・高	校務・授業	みんなで生成AIコース(ChatGPT) テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:《国語》敬語
----	-------	-------	--	---------------

学年・教科	1年・国語	単元等	敬語(2時間構成)
本時のねらい	生成AIによる短文添削を通して敬語に気をつけながら1年のふり返りを書く		
使用するICT教材	スライド・Chat GPT(みんなで生成AIコース)		
授業の流れ			
【1時間目】		【2時間目(本時)】	
1. めあての確認		1. めあての確認	
2. 生成AIの使い方についてのおさらい		2. 課題②(前時で書いた短文を生成AIに添削させる)	
3. 敬語について学ぶ(丁寧語・尊敬語・謙譲語)		3. 課題③(やや長い文を書き、生成AIに添削させる)	
4. 課題①(敬語の種類に気をつけて短文を書く)		4. 課題の提出	
授業のポイント			
①敬語の種類について学び、丁寧語・尊敬語・謙譲語を意識しながら短文を作成した。(前時) ②前時で取り組んだ短文を生成AIに添削依頼。③生成AIが添削した内容をスライドへコピー。 ④自分の間違いを見つけ訂正する。⑤「学校の先生方へ説明する」という場面設定で、学んだ敬語を使って「1年のふり返り」を書いた。さらに、その文章を生成AIに添削させ、文章を完成させた。			

【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】 左記の通り

【入力したプロンプト】

敬語の丁寧語の訂正をお願いします
姉はとても優しいです。私は本を読みます。
訂正いたします。
お姉さんはとても優しいです。私は本を読みます。
丁寧語を使う時のポイントをお願いします
短くお願いします
丁寧語を使う際のポイント:

1. 目上の人や知らない人に対しては敬語を使う。
 2. 「です・ます」調を使って丁寧に話す。
 3. 動詞や形容詞の語尾に敬語の接尾語を付ける。
 4. 自分自身を表す場合は丁寧な代名詞を使う。
 5. 下位の立場の相手には謙譲語を使う。
- 以上、丁寧語のポイントです。

《上記のようなやり取りを繰り返していた》

前の授業で作った文章を再度考えてみよう!

- ▲主語はちゃんとある…?
- ▲文章の中で行動している人は誰になっている…?

尊敬語

- ・上司は椅子におかけになる。
- ・上司は本をお読みになります。

訂正した文章

- ・上司は椅子におかけになります。
- ・上司は本をお読みになります。

使い方のヒント

「お～になる」の形を使用する
「～ます/～です」を「～なさいませう/～でございます」に変える
「～する」を「～なさる」に変える

1. 敬語表現の接続: 文章全体で一貫した敬語表現を使用するために、接続詞や助詞も適切に敬語に変える必要があります。

ステップアップ課題

《課題内容: 1年間の振り返り》
▲努力した事、2年生に向けて、出来たこと、出来なかったこと、などを、学校の先生方に見せるように、学んだ敬語を使って書いてみよう!

自分で考えた文章
私は二年生になってから部活や勉強で教えてくださったことや自分からつかみにいったことを無駄にしないように頑張りたいです。
今年の四字熟語は凡事徹底に決めました。なぜなら、当たり前のことを当たり前に自分でやれるものは自分で言うよう二小さいことも地味なことでも頑張っています。

私は二年生になってから、部活や勉強で教えていただいたことや自分から取り組んだことを無駄にしないように頑張りたいと思います。今年の四字熟語は「凡事徹底」に決めました。なぜなら、当たり前のことを当たり前に自分でやれるものは自分で言うよう二小さいことも地味なことでも頑張っています。

訂正した文

組みます。

実践のふり返り

【成果】英語同様、自分のペースで課題に取り組むことができた。生成AIとのやり取りを通して、間違いを見つけ工夫しながら訂正することができた。

【課題】敬語について理解不足の生徒もみられ、短文添削・アドバイスを振り返るだけで精一杯の生徒もいた。「敬語」は中2で取り扱う学習内容でもあるため、進級後に再度学習することを伝えた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

嘉手納町立嘉手納中学校（沖縄県）【指定校】

<教育利用> ⑩「部の課題について考える《キャプテン会》」

校種

小・中・高

校務・授業

みんなで生成AIコース(ChatGPT)

テキスト生成 画像生成、動画生成

実践タイトル:《部活動》キャプテン会

学年・教科	キャプテン会	テーマ	部の課題を解決するために
ねらい	現在キャプテンとして感じている部の課題について考える		
使用するICT教材	Chat GPT(みんなで生成AIコース)		
キャプテン会の流れ			
【放課後】			
1. 部活動 次年度の動き			
2. 今日のテーマについて[現在キャプテンとして感じている部の課題]			
3. 各部の課題(困っていること)について共有(口頭発表)			
4. 生成AIとのやり取りを通して、課題についての解決策について考える			
5. 生成AIとのやり取りから、課題解決のために取り組みそうな内容を共有			
授業のポイント			
本校には16の部(同好会含む)が存在する。不定期ではあるがキャプテン会を開き話し合う機会を設けている。現在、各部のキャプテンがどのようなことに悩み、所属する部をどのような姿に導きたいと考えているのかを共有した。同じような課題(悩み)もあれば、競技特有の課題もあった。それぞれ異なる課題に対してどのような解決策があるのかを、生成AIとのやり取りを通して考えてもらった。生成AIからはたくさんの解決策の提案があったが、全てを受け入れ実行するのではなく、今の自分たちに取り組みそうな内容や共感できる内容をしぼり、それらをさらに共有した。会の最後には、今後一人で悩むことなく、部活メンバーや他のキャプテンたちと課題を共有し合いながら部活動に取り組むことを確認した。			



【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】 左記の通り

【入力したプロンプト】

私は空手部のキャプテンです

素晴らしいですね！空手部のキャプテンとして、どのようなお手伝いが必要でしょうか？技術や戦術に関する質問やアドバイスがあれば、お気軽にお聞きください。

部活中に大きな声を出して練習をするには、どうすればよいですか？

部員の中に声を出さない子がいる場合、以下のアプローチを試してみることができます：

1. コミュニケーションを重視する...

(以下長文アドバイスが続く)

わかりにくいので、短い文でお願いします

声を出さない部員に対しては、以下のことを試してみてください：

1. コミュニケーションを深める

2. サポートを提供する

(箇条書きで5つのアドバイスをもらっていた)

【上記のようなやり取りで解決策を具体的にもらっていた】

実践のふり返り

【成果】部全体の課題についてアドバイスをもらった後に、技術向上についてのアドバイス求めるやり取りが多く見られた。生成AIからは、競技の特徴を捉えたアドバイスが返ってきた。

【課題】生成AIからのアドバイス内容が難しかったため、「わかりにくいです」や「短く説明して」と何度も入力する様子があった。プロンプト入力の練習・工夫をこれからも重ねていきたい。

<教育利用> ⑪ 「絵本を作ろう」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT Bing, Bard, Canva	実践タイトル: 絵本を作ろう
			テキスト生成、画像生成、動画生成	

比較: プロンプトに「瞬間」を入れたときとそうでないとき



プロンプト
以下の条件をクレヨンを使ってカラーで書いてください。
イラストの対象は6歳ぐらいの男の子です。
男の子の様子は、散らかったおもちゃに足をとられて倒れそうな間。

プロンプト
以下の条件をクレヨンを使ってカラーで書いてください。
イラストの対象は6歳ぐらいの男の子です。
男の子の様子は、散らかったおもちゃに足をとられている。



クル君の魔法のお片づけ



【実践概要】
○目標
・絵本を作るテーマを「自らの子どもに初めてあげる心のこもった絵本」とすることで、生成AIに頼り切らない学習を目指しています。
○生成AIを活用して絵本を作る目的
・生成AIの利活用を通して生成AIの仕組みを理解する。
・「自分にはできない」を「自分にはできる」という発想を育む。
・プロンプト作業を通して子どもたちが考えていることを整理し表現する力を養う。
・創造性や思考力を養う。

【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】
○目標
・絵本を作るテーマを「自らの子どもに初めてあげる心のこもった絵本」とすることで、生成AIに頼り切らない学習を目指しています。
○生成AIを活用して絵本を作る目的
・生成AIの利活用を通して生成AIの仕組みを理解する。
・「自分にはできない」を「自分にはできる」という発想を育む。
・プロンプト作業を通して子どもたちが考えていることを整理し表現する力を養う。
・創造性や思考力を養う。

【入力したプロンプト】
物語作成
#絵本の物語を作成するお手伝いをお願いします。
#幼児向けの絵本を作成したいと考えています。
画像生成
#○○な瞬間を描写してください。

絵本の物語を作成するお手伝いをお願いします。
絵本の絵を作成したいと考えています。

こんにちは、これはBingです。絵本の物語を作成するお手伝いをいたします。
幼児向けの絵本を作成するには、以下のプロンプトは最も良いでしょう。
・ 物語のテーマやメッセージを決める。例えば、友情や勇気、自分らしさなど。
・ 物語の登場人物や舞台を考える。例えば、動物や人間、空想の世界や現実の場所など。
・ 物語のプロットや展開を作る。例えば、はじめ、おきたこと、おわるの前後編にする。
・ 物語の言葉や文体を選ぶ。例えば、簡単でわかりやすい言葉や、リズムや韻を踏んだ言葉など。
・ 物語に合った絵や色を選ぶ。例えば、明るく楽しい絵や、暗く不気味な絵など。
以上のプロンプトを参考に、自分のオリジナルの絵本の物語を作成してみてください。
例1. 異世界探検隊(人間)編成は、以下のリンク先をご覧ください。
・ 幼児向けの絵本の作り方



実践のふり返り
【成果】絵本の物語を生成するのは、アイデアを引き出したり、フォローしたりを先生一人がやるのは苦勞がある。しかし生成AIを活用することでうまく生徒一人ひとりに対応することができた。さらには絵本の絵を生成する際には「○○な瞬間」をいうプロンプトで生成するとうまくいきやすいこともわかった。一連のプロセスを通すことでプロンプトのコツを生徒がつかめるようになった。
【課題】プロンプトをうまく使いこなせる生徒とそうでない生徒に差が出てしまった。いくつも実例を積み重ねて不変的に対応できる授業プランをねる必要がある。絵のタッチを一様にするのが難しい。プロンプトでどうにか絵のタッチまで一様にできるように工夫する必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<教育利用> ⑫ 「部活動の探究で利用」

校種	小・中・高	校務	教育	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成, 画像生成, 動画生成	実践タイトル: 部活動の探究で利用
----	-------	----	----	---	-------------------



生徒が活動記録としてまとめたnote



【パイロット的な取組の段階】
③各教科などの学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
部活の取り組みに生成AIを活用する。ネットラジオを企画した文化系の部活動の活動で、町の教育委員会が編集した町の昔話を部活で利用することになった。そのために活動内容をまとめた企画書を生徒自らの力でゴールシークエンス形式で生成AIを使い作成した。

【入力したプロンプト】
・私は高校で部活動の部長をしています。あなたは私のお手伝いをしてください。
・お手伝いの内容は企画書の作成です。
・企画書の内容は、部活でネットラジオを開設することです。

実践のふり返し
【成果】毎年企画書を顧問と製作していたが生徒自ら製作することが出来た。言葉の足りなさや活動方針をこれまで以上に細かく決めることが出来た。探究活動にも使える可能性を確認できた。
【課題】県で配布されているアカウントでは利用制限があったため生徒が利用するまでに細かい作業が必要になった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<教育利用> ⑬ 「文章の添削を行う(Excelで出力まで)」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard	実践タイトル: 文章の添削を行う(Excelで出力まで)
			テキスト生成、画像生成、動画生成	

まず、文章全体についての改善点を挙げます。

- 文章の長さは1770字で、目標の1700字程度に合わせることができています。100字程度の字数超過は許容としますが、もし可能であれば、冗長な部分を削ることでより簡潔にすることをお勧めします。
- 文章の構成は、序論（感謝の気持ちを述べる）、本論（3年間の思い出や学びを振り返る）、結論（卒業生たちへのエールや期待を述べる）という一般的な答辞の形式に沿っています。しかし、本論の中で、クラスごとの特徴やエピソードを述べる部分がやや長くなっており、全体のバランスが崩れています。この部分は、全体の流れに沿った要点に絞込むか、もしくは別の場所に移動することを検討してください。
- 文章のトーンは、明るく前向きで、喜びや感謝の気持ちを表現しています。卒業生たちに明るい未来を思い描かせることができています。また、希望や未来への期待も強調しており、卒業生たちに夢や目標に向かって挑戦し続けることを期待しています。これらの点は、答辞の観点に沿っています。
- 文章の表現は、簡潔で高校生でも理解しやすい言葉を使用しています。公共の場でのスピーチにふさわしいフォーマルな表現も使っています。しかし、主述のねじれや誤字脱字がいくつか見られます。これらは、文章の理解や印象に影響するので、注意深く見直しを行ってください。

次に、添削した箇所を表形式で出力します。

添削前	添削後	理由
校内に咲く桜が足元に散り、優しい風が新芽を揺らす季節になりました。	校内に咲いた桜が足元に散り、優しい風が新芽を揺らす季節になりました。	「咲く」は現在形なので、「なりました」は過去形に合わせる必要があります。
3年1組は、少し恥ずかしがり屋の男子と積極的な女子が集まったクラスでした。	3年1組は、少し恥ずかしがり屋の男子と積極的な女子で構成されたクラスでした。	「集まった」は自発的な意味合いがあるので、「構成された」の方が適切です。
2年生の頃、新型コロナウイルスによって中止となっていた修学旅行に数年ぶりに行くことができました。	2年生の頃、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた修学旅行に数年ぶりに参加することができました。	「中止となっていた」は受動形なので、「影響で」の方が原因を明確にします。「行く」は動きの方向を示すので、「参加する」の方が内容を表します。
本高祭が終わると、3年生は本格的に進路活動が始まりました。	本高祭が終わると、3年生は本格的に進路活動に取り組みました。	「始まりました」は自動詞なので、「取り組みました」の方が能動的な姿勢を示します。
そして今日、昔の制服姿が最後と考えると、寂しさがこみ上げてきます。	そして今日、昔の制服姿を最後に見ると考えると、寂しさがこみ上げてきます。	「最後と考える」は抽象的な表現なので、「最後に見る」と具体的にします。

【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】卒業式の送辞の添削作業を生成AIに手伝ってもらう。

0_生徒_原稿案を自分のスマホに入力・作成→Teamsのチャットで送信・提出。 ※テキスト化(ベタ打ち)の必要性を省くため、手書き(原稿用紙)ではなく電子媒体でまとめてもらう。

- 1_教師_ゴールシークプロンプトを活用しながら、添削指導の際の観点・ポイントを生成してもらったプロンプトを考案。
- 2_教師_添削指導のプロンプトを考案・修正。
- 3_教師_生徒の原稿案をBingとChatGPTに添削してもらう。
- 4_教師_添削の目星を付け、ファクトチェックも兼ねて実際に読みながら赤入れ添削。
- 5_対面_上記「4.」の添削結果を生徒に伝えながら、生徒と一緒に生成AIの添削結果(上記「3.」をエクスポートしたもの)を見て、参考にできる要素があるかをやり取りを重ねて検討。
- 6_生徒_推敲。

【入力したプロンプト】

あなたは、生徒が書いた文章の添削指導を行う高校の国語科教師です。以下に従って、添削指導を行ってください。

- #ゴール
 - 卒業式の答辞の原稿を添削し、改善点を挙げる。
- #出力の際の注意点
 - 改善点を添削結果として明確かつ簡潔に簡潔書きで出力する。
 - 添削した箇所を「添削前」「添削後」「理由」の表形式で出力する。
 - 添削指導後、勝手に書き直しの例文を出力はしない。
 - 指摘内容の重複は避ける。
- #添削指導の観点
 - 簡潔で高校生でも理解しやすい言葉を使用しているか。
 - 明るく前向きなトーンを心がけ、喜びや感謝の気持ちを表現しているか。
 - 希望や未来への期待を強調し、卒業生たちに明るい未来を思い描かせているか。
 - 1700字程度に合わせるために、要点を絞り込んで冗長にならないようにしているか。100字程度の字数超過の場合は許容とする。
 - キーマッセージを明確に伝えると同時に、関連するエピソードや例を適度に取り入れているか。
 - 主述のねじれや誤字脱字がなく、理解できる文章になっているか。
 - 公共の場でのスピーチにふさわしいフォーマルな表現を使用しているか。
 - 未来へのエールを込めつつ、成功や挑戦に対する期待を述べているか。
- #文章
 - ここに原稿案をコピペ

実践のふり振り返り

【成果】教員の作業時間が大幅に減った。

【課題】bingの場合勝手に例文を出す恐れがあるので、プロンプトを少し加工してあげないといけない

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<教育利用> ⑭ 「故事成語×画像生成AI」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 故事成語×画像生成AI
----	-------	-------	---------------------------------------	---------------------

「故事成語」×「画像生成AI」クイズ
 ~どの故事成語をイメージして生成した画像でしょうか?~【共有】

使用している画像は全て「画像生成AI」で生成した画像です。実在する人物や団体などとは関係ありません。

次に示す、同じこのフォームを送信すると、所定者に宛先とメールアドレスが送信されます。

次の生成画像は、どの故事成語をイメージして生成したものでしょうか。「これが...?」と思うものを選択し、解答してください。

① どの故事成語をイメージして生成した画像でしょうか? (1点)

② どの故事成語をイメージして生成した画像でしょうか? (1点)

③ どの故事成語をイメージして生成した画像でしょうか? (1点)

答えの選択

紀元
 助兵
 圧巻
 守株
 軒定
 栄隆
 傾城
 孝兵

【パイロット的な取組の段階】
 ③各教科などの学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
 2年進学クラスの古典探究の授業にて故事成語を学習後、故事成語を画像生成に仕立て発展学習の足掛かりとして活用した。

生成された故事成語の数_30枚
 生徒の正答平均点_20.7点

【入力したプロンプト】
 各故事成語のタイトル

実践のふり返し

【成果】これまで学習した故事成語を振り返るきっかけとなり、内容を深化させて学習を図ることが出来た。

【課題】目標は50枚生成する予定であったが故事成語からは生成される画像が適当でないものが多く30枚にとどまった。

<教育利用> ⑮ 「困り感のある生徒への対応相談」

校種	小・中・高	校務 教育	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 困り感のある生徒への対応相談
----	-------	-------	---------------------------------------	------------------------

m You
他人が怒られているのに、知的障害の子が自分が怒られていると感じています。対処方法はありますか？

g ChatGPT
知的障害の子が自分が怒られていると感じることは、その子の認知能力や情動的な発達によって異なります。そのため、対処方法は個人に応じて異なりますが、以下のアプローチが考えられます。

1. イメージや絵カードを用いた説明
知的障害を持つ子どもたちは、言葉だけでは理解しにくい場合があります。そのため、シンプルなイメージや絵カードを用いた説明を行うことで、自分が怒られていないことを理解する手助けになるかもしれません。
2. 感情を表現する練習
知的障害を持つ子どもたちは、感情を表現することが難しい場合があります。そのため、怒りや嫌な気持ちなどの感情を表現する練習を行うことで、自分の感情と他人の感情を区別することができるようになるかもしれません。
3. キャリングタイム
知的障害を持つ子どもたちは、ストレスや不安を感じやすい傾向があります。そのため、キャリングタイムと呼ばれる、子どもたちが自分の感情や気持ちを話す場を提供することで、安心感を得ることができるかもしれません。
4. 知的障害に特化した支援機関の利用
知的障害を持つ子どもたちは、特別な支援が必要な場合があります。そのため、専門的な支援機関を利用することで、子どもたちが適切なケアを受けられるようになるかもしれません。

上記のアプローチは、知的障害を持つ子どもたちが自分が怒られていると感じる場合に役立つ可能性があります。しかし、子どもたちによっては、このようなアプローチだけでは十分でない場合もあります。そのため、専門家の助言を仰ぐことが大切です。



【パイロット的な取組の段階】

④ 日常使いする段階

【実践概要】

特別な支援を要する生徒に対しての指導計画に関して、これまでその特質に対して自身で学習したり、専門機関に意見をお求める事前段階の対応としてネット検索する感覚で、個人情報伏せて特質だけプロンプトかけて指導計画を練ってみる。その後、実際の指導計画をたたき台として専門機関と連携して指導にあたる。

【入力したプロンプト】

他人が怒られているのに、知的障害の子が自分が怒られていると感じています。対処方法はありますか？

実践のふり返り

【成果】専門機関に聞いたのち、生徒実情に合わせて対応策を練っていた時間を生成AIを活用することで省力することが出来た。

【課題】今回はハルシネーションなどの危惧する生成は行われずに生成されたためスムーズに対応策を練ることができたが、起きるものだと仮定して専門機関にも生成AIの回答を共有する必要があると感じた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<教育利用> ⑯ 「小論対策(進学指導)」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:小論対策(進学指導)
----	-------	-------	---	-------------------

You

- ・小論文のトレーニングをお願いします。
- ・私はbingに前回#1にあるように小論文のトレーニングをお願いしました。
- ・その後、#2のテーマを生成しました。
- ・その後、#3にあるように小論文を書きました。うまく書けているかアドバイスを下さい。

#1前回の小論文のトレーニングお願い

- ・大学入試の小論文のトレーニング相手になってください。
- ・目指す大学はSDGsを含む国際文化に関する学科です。
- ・入試のテーマは記事文章と共に生成してほしいです。
- ・これまでの入試のテーマは以下の通りでした。

_ 離隔した際の国際社会から見た日本の問題点
_ 競争がない平和な世界を目指すために日本人が足りないもの

#2生成されたテーマ

_ コロナ禍でのオンライン教育のメリットとデメリット _ 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、教育のあり方に大きな影響を与えました。多くの国や地域で、学校が休校になり、オンラインでの授業や学習が行われるようになりました。オンライン教育には、時間や場所にとらわれない柔軟性や、個別のニーズに応える可能性など、多くのメリットがあります。しかし、同時に、インターネットやデバイスへのアクセスの不平等や、教師や生徒の負担の増加、対面での交流や体験の欠如など、多くのデメリットもあります。オンライン教育は、SDGsの目標4（すべての人々に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）に貢献することができるでしょうか。あなたは、オンライン教育にどのような評価を与えますか。自分の考えとその根拠を述べてください。（800字以内）

Copilot

こんにちは、Copilotです。小論文のトレーニングをお手伝いします。

あなたが書いた小論文に対して、私のアドバイスを以下に示します。

- ・まず、序論でオンライン教育に対する自分の評価を明確に述べるとより良いです。例えば、「私はオンライン教育について、SDGsの目標4に沿って考えると、教育の機会を広げるといいものだと思いますが、教育の質や公平性については懸念が多いと感じます」というように、自分の主張を最初に提示すると、読者に対してわかりやすくなります。
- ・次に、本論でオンライン教育のメリットとデメリットを具体的な事例やデータを用いて説明すると、自分の考えに説得力を持たせることができます。例えば、「オンライン教育のメリットとしては、時間や場所にとらわれない柔軟性が挙げられます。実際に、コロナ禍でオンライン教育を受けた生徒の約半数が、自分のペースで学べると回答しています」や、「オンライン教育のデメリットとしては、インターネットやデバイスへのアクセスの不平等が問題になります。実際に、世界の約3分の1の子どものみが、オンライン教育に必要なインターネットやデバイスにアクセスできないという報告があります」というように、事実に基づいた根拠を示すと、自分の主張を裏付けることができます。
- ・最後に、結論でオンライン教育に対する自分の評価を再び述べるとともに、オンライン教育の今後の展望や改善案などを提案すると、小論文のまとまりがよくなります。例えば、「以上のことから、私はオンライン教育について、教育の機会を広げるといいものだと思いますが、教育の質や公平性については懸念が多いと感じます。オンライン教育は、コロナ禍だけでなく、今後も教育の一つの形として残る可能性が高いと考えられます。そのため、オンライン教育のメリットを最大限に活かすつ、デメリットを減らすためには、インターネットやサービスの整備、教師や生徒のサポート、対面とのバランスなどについて、さらに検討する必要があると思います」というように、自分の考えをまとめるとともに、オンライン教育に対する自分の考え方や姿勢を示すと、小論文の印象がよくなります。

以上が私のアドバイスです。小論文のトレーニングはいかがでしたか。もし、他のテーマで小論文を書きたい場合は、またお申し付けください。Copilotはいつでもあなたの学習のお手伝いをします。

【パイロット的な取組の段階】 ③各教科などの学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
進路指導の小論文対策に生成AIを活用して出題から採点チェックまで行った。

【入力したプロンプト】
★小論文の課題を生成する方法
・大学入試の小論文のトレーニング相手になってください。
・目指す大学は **大学の種類や概要説明** に関する学科です。
・大学入試の小論文のテーマ課題は記事文章と共に生成してほしいです。
・これまでの大学入試の小論文のテーマ課題は以下の通りでした。

- 【出題内容1】
- 【出題内容2】

★小論文の課題を採点してもらう方法
・小論文のトレーニングをお願いします。
・私はbingに前回#1にあるように小論文のトレーニングをお願いしました。
・その後、#2のテーマを生成しました。
・その後、#3にあるように小論文を書きました。うまく書けているかアドバイスを下さい。
#1前回の小論文のトレーニングお願い

- 【★小論文の課題を生成する方法のプロンプト】
- #2生成されたテーマ
- 【★小論文の課題を生成された課題】
- #3自分の考えと根拠
- 【生徒の書いた小論】

実践のふり振り返り

【成果】これまでの1行テーマでの練習が文章での練習。添削時間の削除。教員の専門外の学校の小論文対応が可能になった。

【課題】これまでの出題内容まで含めてプロンプトで包括出来たらさらに負担減に繋がると感じた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<校務利用> ⑰ 「生成AI活用同意書を生成AIで作成」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 生成AI活用同意書を生成AIで作成
----	-------	-------	---------------------------------------	---------------------------

【パイロット的な取組の段階】

① 生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

生成AIを活用するための保護者への同意書を、生成AIを活用して作成する。

【入力したプロンプト】

- ・あなたは学校の先生です。
- ・生徒が学校で生成AIを使うには保護者の同意が必要です。
- ・保護者への同意書のテンプレートを作成してください。
- ・安全面に気を付けて学校では活用することを明記してください。

The screenshot shows a Bing chat window on the left with a purple prompt box containing the following text:

あなたは学校の先生です。
 ・生徒が学校で生成AIを使うには保護者の同意が必要。
 ・保護者への同意書のテンプレートを作成してください。
 ・安全面に気を付けて学校では活用することを明記してください。

The chat response on the left explains the purpose of the template and provides instructions for its use. On the right, the generated document is shown, titled "生成 AI 活用同意書(依頼)" (Request for AI Usage Consent Form) from the school principal to the parent/guardian. The document includes a date (2023年11月17日), school name (沖縄県立本部高等学校), and a list of usage rules:

- ・生成 AI は、教師の指示や監督のもとでのみ使用します。教師は、生成 AI が作成したコンテンツの内容や品質を確認し、必要に応じて修正や削除を行います。
- ・生成 AI は、教育目的でのみ使用します。個人的な用途や不適切な内容での使用はしません。
- ・生成 AI は、自動生成されたコンテンツを提供するものであり、必ずしも正確性や信頼性が保証されるものではありません。生成 AI から得た情報は、自分で確認や検証を行います。
- ・生成 AI は、安全に気を付けて使用します。不快な内容や危険な行為を促すようなコンテンツは避けられます。また、個人情報や連絡先などを教えたり、他人に教えられたりしないように注意します。

At the bottom of the document, there are checkboxes for "同意する" (I agree) and "同意しない" (I do not agree).

実践のふり返り

【成果】時間をかけて公文を作成していたが、たたき台をすぐに作成できるようになったため大幅な時間短縮に繋がった。
【課題】プロンプトを調整することに苦労した、同意書のつもりが宣言書になってしまっていたりと、使う側がプロンプト作業に慣れる必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<校務利用> ⑱ 「生成AIの活用の情報共有」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 生成AIの活用の情報共有
----	-------	-------	---------------------------------------	----------------------

【パイロット的な取組の段階】

①生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

パイロット校として生成AIの実践事例の情報共有を含め、生成AIを活用する際のハブ的活動を行うことにより沖縄県全体の生成AI活用能力を高めるを目的として情報共有の場をクラウド上で用意した。

チーム内の総人数: 488人

1日の平均閲覧者数

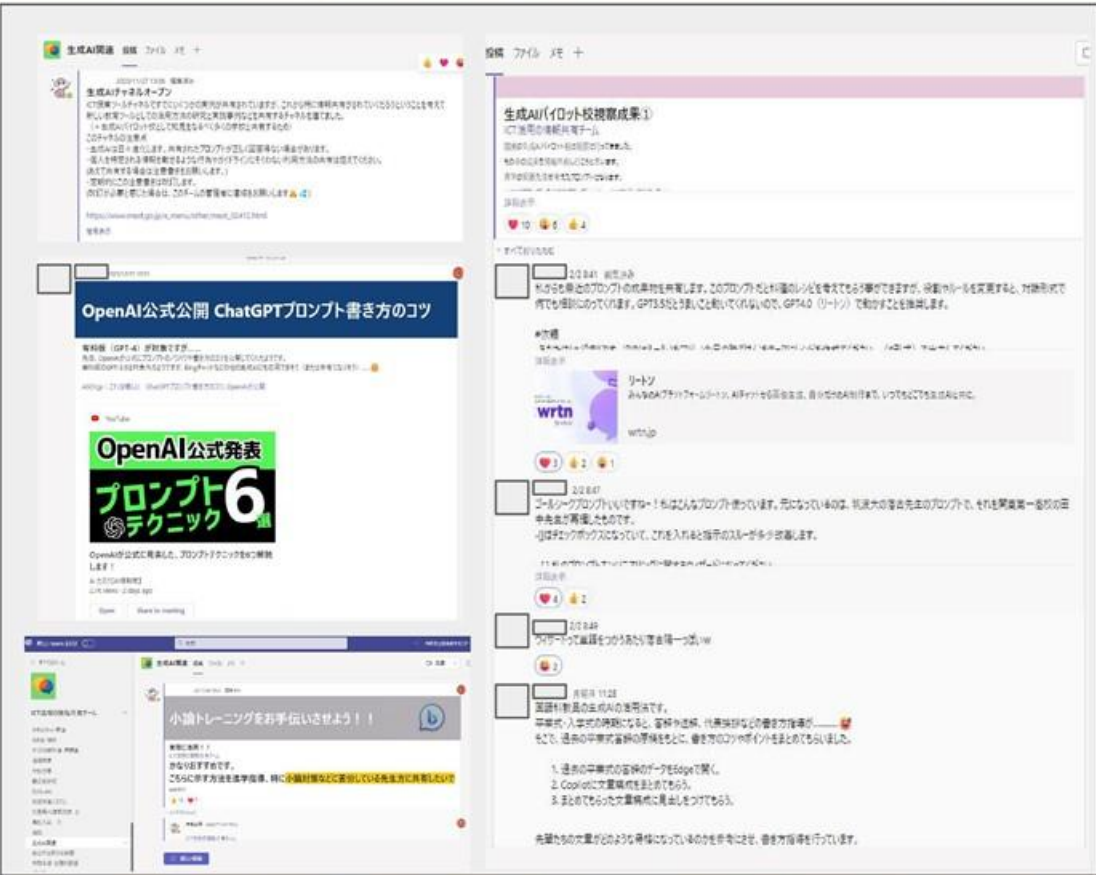
投稿があった日: 120人

投稿がない日: 20人

最高閲覧者数: 342人

リアクションが多かった投稿種 昇降順

- ・大学小論文に使えるプロンプト共有
- ・プロンプトの記述法
- ・先進校視察報告
- ・新しい機能説明動画
- ・その他_授業実践例
- ・その他_校務活用例
- ・キャンペーン情報



実践のふり振り返り

【成果】実践を共有し、他校から意見をもらうことで実践校の独りよがりにならず、様々な学校の意見を取り入れたり、県全体で生成AIに興味関心がある先生が多いことを知ることが出来た。

【課題】生成AIを活用することに不安視する先生が県内にもいることを直接感じる事が出来た。そういった先生方へのアプローチを考える必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<校務利用> ⑱ 「教員による勉強会」

校種	小・中・高	情報共有	ChatGPT、Bing、Bard	実践タイトル: 教員による勉強会
			テキスト生成、画像生成、動画生成	

生成AI活用の教育現場と実態

日時: 2023/11/10
場所: タビックスタジアム名護

プログラム: 1部 生成AI活用の教育現場と実態 講師・津島山用 前半_講話
2部 新しい職業と活用法 後半_講話

後半_新しい職業と活用法
〇どうやって活用するの? 生成AIの活用方法について
〇生成AIによる新しい職業について

2部 学校におけるCT活用
〇各学科のCT活用事例の紹介
〇生成AIの活用方法
〇生成AIの活用方法

研修で先生向けに生成AI活用を学べるのは初!

PCやタブレットを使った生成AIの活用が盛りだくさん
演習される先生は、事前に「edgex、アプリを事前にインストールしてきてください」

子ども生成AIを使わせるタイミングは? どんな生成AIがいいの?

向かい合えない方

【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】
秋までの研修で学習してきた生成AIについて発表をかねて講話を開いた。

〇講話タイトル
__生成AI活用の教育現場と実態
__新しい職業と活用法
__学校におけるCT活用

【入力したプロンプト】

- ・プロンプトの概念についての学習
- ・文章生成と画像生成ツール
- ・Zero-shot プロンプト
 - __前提条件を与えないプロンプト (例)今日の天気を教えてください。
- ・深津式プロンプト
 - __役割を与えるプロンプト (例)あなたは学校の先生です。……
- ・利用する生成ツールの違い

実践のふり返し
【成果】講話をすることで自身の学習の振り返りと、教育情報意識を伝えることが出来た。
【課題】参加する先生が普段よりも意識の高い先生方なので、参加されないへの伝え方を工夫しないとイケない。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

<校務利用> ⑳「児童会役員選挙の原稿添削で活用」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成, 画像生成, 動画生成	実践タイトル: 児童会役員選挙の原稿添削で活用
----	-------	-------	---	-------------------------

ChatGPT
 入力文を指定された条件に従って添削しました。文章は200字程度に抑え、丁寧な言葉遣いと敬語を使用し、小学生にも伝わるように配慮しています。

皆さん、こんにちは。私が児童会役員に立候補する理由は、高原小学校をもっと楽しい場所にしたいと思ったからです。様々なイベントを企画して、クラスや学年、部活動を超えて、まだ知らない友達とも交流できるようにしたいと思います。

児童会役員になれば、月に一度は全校生徒が参加できるイベントを開催したいです。ドッジボールや綱引き、玉入れ、リレーなどの運動競技や、工作、ダンボール迷路、お祭りなど、ワクワクする行事を企画します。これらの活動を通じて、みんなが笑顔になれる高原小学校を目指します。

皆さんの清き一票を、心よりお願い申し上げます。一緒に楽しい学校生活を作っていきましょう。

【パイロット的な取組の段階】

①生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

児童会役員に立候補する児童達の原稿添削でChatGPTを活用した。計4名の文章を添削したが、30分程度で添削を済ませることができ、作業効率が上がった。

【入力したプロンプト】

You
 #命令書：あなたはプロの教師です。以下の制約条件と入力文をもとに、児童会役員選挙の文章の添削をしてください。

#制約条件：
 ・文章は200字程度
 ・丁寧な言葉遣い
 ・聞いている人に魅力を与える内容
 ・小学生にも伝わる文章
 ・敬語

#入力文
 児童会役員に立候補した理由は、学校がもっと楽しい所にしたいからです。イベントなどを

実践のふり返り【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。）
【成果】文章の添削はとても時間がかかるため、生成AIを活用することで効率よく作業をすることができた。
【課題】ChatGPTが添削した文章でも、小学生には伝わりづらい文もあった。全てを鵜呑みにするのではなく、人の目で確認する必要がある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

＜校務利用＞ ②「単元のイメージ画像の作成」

校種	小・中・高	校務 授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成、 画像生成 、動画生成	実践タイトル: 単元のイメージ画像の作成
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>【パイロット的な取組の段階】 ①生成AI自体を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】 第5学年、国語の単元『想像力のスイッチを入れよう』にて、単元のイメージを持たせるために画像を生成した。 最初は「現実には存在しない事柄を心の中に思い描く」という意味での想像力として画像生成していたため、さらに条件を与えることで、より単元内容に近い画像を生成することができた。</p> <p>【入力したプロンプト】 ①「想像力のスイッチ」というタイトルのイラストを書いてください。 ②「想像力のスイッチ」というタイトルのイラストを書いてください。ここでいう「想像力」とは、ファクトチェックのことです。</p> </div>				

実践のふり返り【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。）


【成果】生成AIで画像を作成することで、著作権等を気にすることなく画像を活用することができる。また、児童のイメージの手助けに繋がる。

【課題】よりイメージに近い画像を生成するためには、プロンプトのスキルを高める必要がある

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

＜教育利用＞ ②「パフォーマンス課題の参考例」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: パフォーマンス課題の参考例
<p>課題の設定 メディアとの関わり方について自分の考えを書こう！</p> <p>例 1</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>You あなたは小学生です。「メディアとの関わり方」について自分の考えを200字程度で書きましょう。 < 2/2 ></p> <p>ChatGPT 小学生として、「メディアとの関わり方」について考えると、<u>まず大切なのはメディアを使う時間を適切に管理することです。テレビやインターネットは面白くて、たくさんのことを学べますが、長時間使いすぎると、勉強や運動の時間が減ってしまいます。だから、一日の中でメディアを使う時間を決めて、それ以外の時間は他の活動に使うことが大切です。</u></p> <p>また、インターネットには正しい情報と間違った情報が混ざっているので、<u>情報の見分け方を学ぶことも重要</u>です。学校の先生や親に相談しながら、どの情報が信頼できるかを判断する練習をすると良いでしょう。そして、自分で見たり聞いたりを鵜呑みにせず、いつも疑問を持って考えることが大事です。</p> <p>最後に、<u>メディアを通じて世界中のさまざまな文化や考え方に触れることができます</u>。異なる国や地域の人々の生活を知ること、広い視野を持つことができ、他人に対する理解も深まります。しかし、自分の身の回りの大切なことを忘れないようにしましょう。家族や友達との時間を大切に、現実の世界での体験も大切にしてください。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>文章の構成も参考になりそうですね！</p>  </div>				
<p>【パイロット的な取組の段階】 ①生成AI自体を学ぶ段階</p>				
<p>【実践概要】 第5学年、国語の単元『想像力のスイッチを入れよう』にて、パフォーマンス課題を設定した（これまでにメディアと関わった経験や、これからのことを想像しながら、「メディアとの関わり方」について自分の考えを200字程度で書きましょう。） 学習の見通しを持たせるために、パフォーマンス課題に対する答えを生成した。</p> <p>【入力したプロンプト】 あなたは小学生です。「メディアとの関わり方」について自分の考えを200字程度で書きましょう。</p>				

実践のふり返し(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)

【成果】児童にとって文章構成や自分の考えをまとめるときに参考になる内容である。

【課題】教科書の内容を生成AIに読み込ませることで、より単元の内容に沿った文章になると感じた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

＜教育利用＞ ②「授業の「疑問」を聞いてみる」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:授業の「疑問」を聞いてみる
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>① ● ChatGPT 地球の表面は、いくつかの大きな岩のかげら（これを「プレート」と呼びます）できていて、この岩のかげらたちは、ずっとゆっくり動いています。時々、これらのプレートがぶつかったり、こすれ合ったりすると、地震が起こります。</p> <p>地球の下では、これらのプレートがお互いに押し合ったり引っ張り合ったりして、大きな力がたまっていきます。この力があまりにも大きくなると、プレートが突然動いて、その動きが地震となって地表に現れます。大きな地震が起こるのは、このようにして長い時間かけてたまった力が一気に解放されるからです。</p> <p>地球の中でこのようなことが起きるのは、地球が生きているようなもので、常に動いて変化しているからです。プレートの動きは自然の一部で、この動きによって山ができたり、大陸が形を変えたりしています。大きな地震が起こるのは、この大きな自然の動き ↓ つの表れなんです。</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>② ● ChatGPT 日本は自然災害が起きやすい場所にあります。その大きな理由は、日本が「環太平洋火山帯」という、地震や火山の活動が活発な地帯に位置しているからです。この地帯は「火の輪」とも呼ばれていて、地球のいくつかのプレートがぶつかり合ったり、こすれ合ったりする場所にあります。日本のまわりには、いくつかの大きなプレートがあり、これらのプレートが動くと、地震が起こりやすくなります。</p> <p>さらに、日本は四方を海に囲まれた島国で、台風が発生しやすい太平洋に面しています。台風は大きな風と雨をもたらし、洪水や土砂崩れなどの災害を引き起こすことがあります。</p> <p>また、日本には多くの山があり、急な斜面が多いです。大雨が降ると、これらの斜面で土砂崩れが起きやすく、また川の水が急に増えて、洪水が起こることもあります。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>【パイロット的な取組の段階】 ②使い方を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】 第5学年、社会の単元『自然災害とともに生きる』にて、担任の監督のもと、学習に対する疑問を生成AIに聞くことができるよう環境を整えた。 意識させたことは、「生成AIの答えは完全解ではない。1人の大人に聞いているつもりで、あくまで参考程度にする」ということである。</p> <p>【入力したプロンプト】 ①なぜ大きな地震がくるのでしょうか？5年生にもわかるようにわかりやすくまとめてください。 ②なぜ日本は自然災害が起きやすいのでしょうか？5年生にもわかりやすく教えてください。</p> </div>				

実践のふり返し(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)


【成果】担任の端末のみで活用したので、安全に使用することができた。また、課題の解決に向けて児童の考えが深まった。

【課題】どのようなことを質問すると効果的か明確にすると、より児童自身の活用に繋がりやすくなる。いくつか方法の選択肢を設けたい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

＜教育利用＞ ②「授業の振り返りを要約」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:授業の振り返りを要約
<p> ChatGPT</p> <p>今日の授業の振り返りを400字以内でまとめると、以下のようになります。</p> <p>今日の授業では、生徒たちがジャムボードを活用して学習しました。意見が重なった部分もありましたが、授業態度は良好でした。今回は重複を気にせず、より独創的な意見を出すことを目指します。学習方法としては、友達との交流を通じて意見をまとめることができ、効果的でした。また、教科書や他の情報源から「想像力のスイッチ」について考える活動も行い、筆者の意図を深く理解する機会となりました。グループ活動では、特にはるきさんらが積極的にまとめを行い、スムーズな進行に貢献しました。</p> <p>今日の学習内容は、複数の事例を整理し、それに対する意見をまとめることでした。これにより、情報収集と整理の重要性を学び、教科書から筆者の考えを見つけるためのスキルも向上しました。グループでの協力やジャムボードの効果的な使用が、このプロセスをサポートしました。一部で時間管理や内容の深掘りが課題として残りましたが、全体的には充実した学習ができたと感じます。今回は、より効率的な時間管理と、深い内容の理解に焦点を当てたいと考えています。</p>				<p>【パイロット的な取組の段階】</p> <p>①生成AI自体を学ぶ段階</p> <p>【実践概要】</p> <p>授業の振り返りをGoogle formで行い、児童の感想をまとめて要約させた。</p> <p>【入力したプロンプト】</p> <p>#命令書 あなたはプロの教師です。下記の制限条件をもとに、授業の振り返りを要約してください。</p> <p>#制約条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の仕方」についてまとめる ・「学習の方法」についてまとめる ・400字以内にまとめる <p>#入力文(児童の振り返りを載せた)</p>

実践のふり振り返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)

【成果】振り返りを要約することで、次時の学習内容に活かすことができる。また、教師自身のリフレクションにも繋がる。

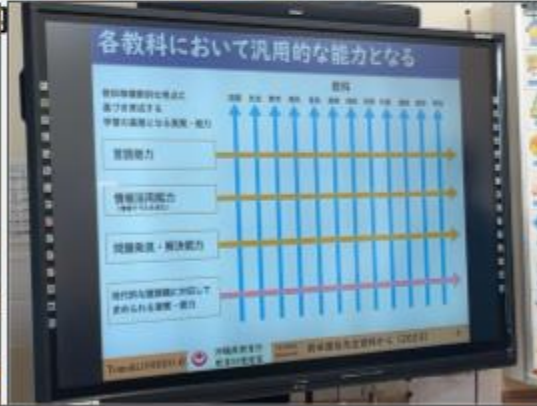
【課題】最初は文字数の指定をせず、かなりの長文になってしまった。また、学級全体ではなくグループ単位で要約させると児童は身近に感じると思う。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

<教育利用> ②「生成AIとは？（導入授業）」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:生成AIとは？(導入授業)
----	-------	-------	---------------------------------------	----------------------



【パイロット的な取組の段階】

- ① 生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

講師：大城 智紀 先生
 沖縄県教育庁 県立学校教育課 教育DX推進室
 指導主事 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー

- ①講師による自己紹介
- ②情報活用能力について
- ③BBCの紹介(世界で最も信頼される情報局)
- ④BBC(スパゲッティ・ストーリー)
- ⑤生成AIについて(個人情報を入力をしてはいけない、著作権に配慮する等)
- ⑥今日のまとめ

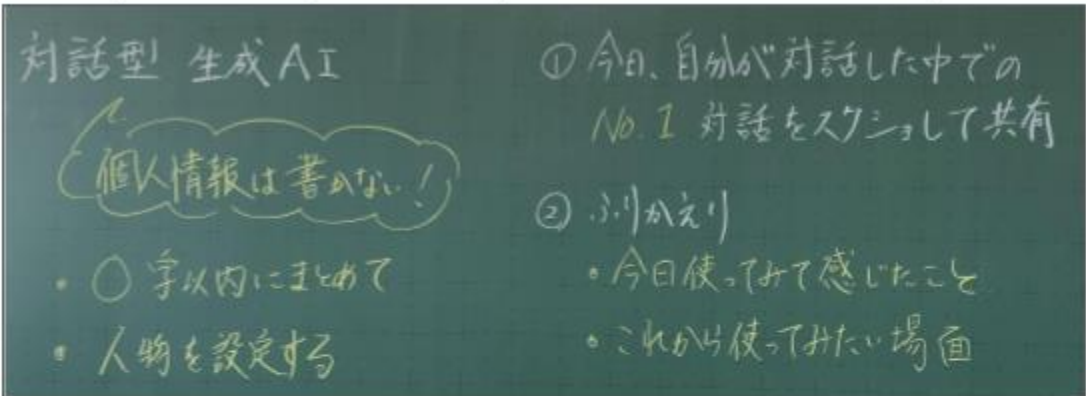
実践のふり振り返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
 【成果】ファクトチェックの必要性を学ぶことができただけでなく、生成AIを活用していく上での態度を形成することができた。
 【課題】本時を第1時として、単元構成をすると今後に繋げることができる。画像生成AIや対話型生成AIの活用に繋げていきたい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

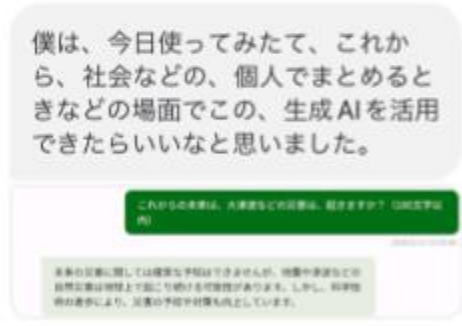
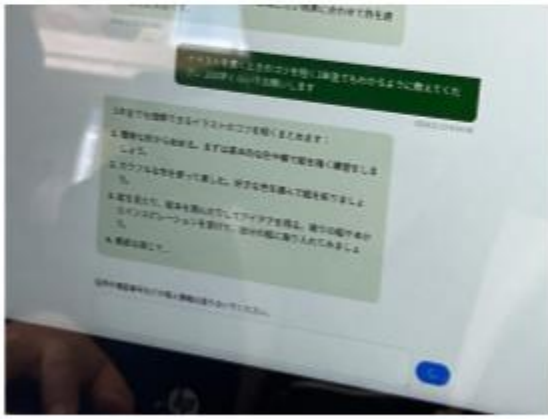
<教育利用> ②「対話型生成AIの導入」

校種	小・中・高	校務・授業	みんなの生成AI テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:対話型生成AIの導入
----	-------	-------	------------------------------	-------------------



【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】
「NPO法人みんなのコード」の「みんなの生成AIコース」を活用した。
①対話型生成AIの活用方法と注意点の確認
②実際に使ってみる
③自分が対話した中でのNO.1プロンプトを共有
④ふりかえり(使ってみて感じたこと、これから使ってみたい場面)



【入力したプロンプト】
・絵を描いてみてください。
・物語を100文字以上200文字以内で書いてみてください。
・イラストの肌の影などにはグレー系の色をのせるといいそうですが、どのような効果があるの ですか？

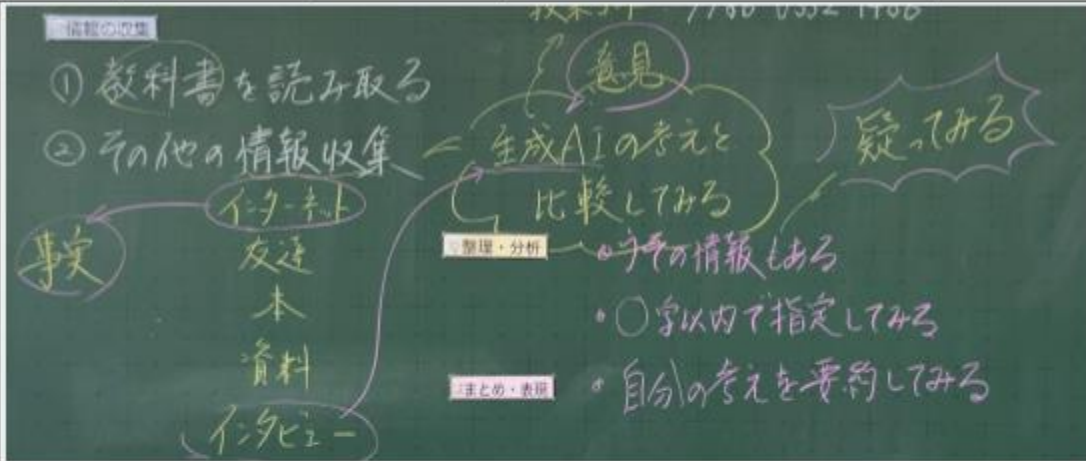
実践の振り返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
【成果】対話型生成AIの活用方法や注意点を確認して始めることで、情報モラルを意識して活用する姿が見られた。
【課題】振り返りで教科等に活かせるような場面を書かせたので、授業で活用してみる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立高原小学校（沖縄県）【協力校】

<教育利用> ②「対話型生成AIを授業で活用（社会）」

校種	小・中・高	校務・授業	みんなの生成AI テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:対話型生成AIを授業で活用(社会)
----	-------	-------	------------------------------	--------------------------

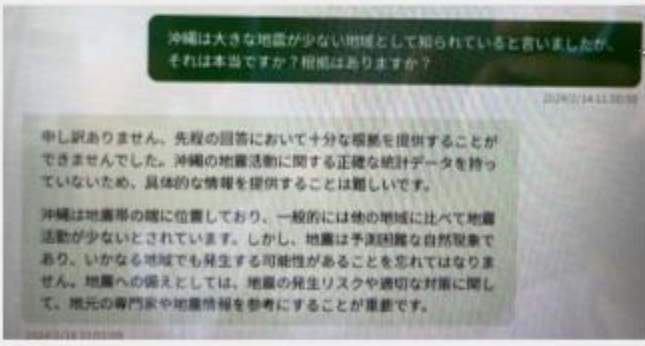


【パイロット的な取組の段階】
③各教科などの学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
社会科の学習において、日常から探究のサイクルをまわして授業を進めている。そこで、情報収集や整理・分析の場面で対話型生成AIを活用するよう促した。児童らは「1人の大人に意見を聞いてみる」感覚で活用していた。

【入力したプロンプト】
・沖縄は大きな地震が少ない地域として知られていると言いましたが、それは本当ですか？根拠はあるのでしょうか？

・あなたはレジリエントICTの研究長です。レジリエントが導入されることよってのメリットとデメリットとそれに対しての考えを教えてください。



意見を聞くプロンプト

実践のふり振り返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
【成果】児童から「事実を確認するのはインターネット、意見を聞くのは生成AIが使える」という発言があり、今後の活用に繋げることができそうである。
【課題】まだまだプロンプトに差が見られる。Google chatを活用して良い例を共有し、価値づけていく。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

＜教育利用＞ ⑳「生成AIとは？（導入授業）」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:生成AIとは？(導入授業)
----	-------	-------	---------------------------------------	----------------------



【パイロット的な取組の段階】

① 生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

講師: 大城 智紀 先生

沖縄県教育庁 県立学校教育課 教育DX推進室
指導主事 文部科学省 学校DX戦略アドバイザー

- ①講師による自己紹介
- ②情報活用能力について
- ③BBCの紹介(世界で最も信頼される情報局)
- ④BBC(スパゲッティ・ストーリー)
- ⑤生成AIについて(個人情報の入力をしてはいけ ない、著作権に配慮する等)
- ⑥今日のまとめ



実践のふり返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)

【成果】ファクトチェックの必要性を学ぶことができただけでなく、生成AIを活用していく上での態度を形成することができた。

【課題】本時を第1時として、単元構成をすると今後に繋げることができる。画像生成AIや対話型生成AIの活用に繋げていきたい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

<校務利用> ②「なぜ年齢制限があるの？①（酒・たばこ）」

校種	小・中・高	校務・授業	ChatGPT、Bing、Bard テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル:なぜ年齢制限があるの？①(酒・たばこ)
----	-------	-------	---------------------------------------	----------------------------



You
次の内容を3つにまとめて下さい。
体に悪いから 未成年者はタバコの有害物質を受けやすいから お金がかるから
体の機能が未完成で悪影響を受けるから アルコール依存症になり、集中力の低下などがあるから
病気や癌になりやすく、死亡リスクが高まるから
体に悪影響を与えるから 病気がかりやすくなるから 法律で定められているから
健康に悪影響だから 依存症の危険があるから 法律で定められているから
体に悪影響がある 依存症になりやすいから 臓器の病気がかり、死亡のリスクが高い
体の機能が足りないから 体の成長がストップするから 体に悪い影響が与えられるから

ChatGPT
次の内容を3つのポイントにまとめると以下のようになります。

- 健康への悪影響: 未成年者は体の機能が未完成であり、タバコの有害物質やアルコールによる悪影響を受けやすいです。これにより、病気や癌になりやすくなり、死亡リスクが高まる可能性があります。また、体の成長が阻害される可能性もあります。
- 依存症のリスク: タバコやアルコールの使用は依存症を引き起こす危険があります。これにより、集中力の低下やその他の心理的、身体的な問題が生じる可能性があります。
- 法的な規制: 未成年者がタバコやアルコールを使用することは法律で禁じられています。これは未成年者の健康と安全を守るための措置であり、法的な制約が存在します。また、このような物質の使用には経済的なコストも伴います。

【パイロット的な取組の段階】
①生成AI自体を学ぶ段階

【実践概要】

酒やたばこの年齢制限がある理由について、個人の考えや他者参照(付箋:黄)、インターネット(付箋:赤)で調べたことをジャムボードにまとめる。

グループの考えを3つにまとめ、Googleフォームで提出する。

各グループから出された考えを、ChatGPTに入力し、3つに要約してもらる。

【入力したプロンプト】

・次の内容を3つにまとめて下さい。(以下、Googleフォームの内容を入力)

実践のふり返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)

【成果】集約を以前子どもたち自身でした経験があるので、その速さに驚いていた。

【課題】ChatGPTの回答で難しい表現があるので、プロンプトの出し方(小学校高学年にわかりやすい表現などで)が必要。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

<校務利用> ③「みんなのコード（みんなで生成AIコース）を使ってみた」

校種

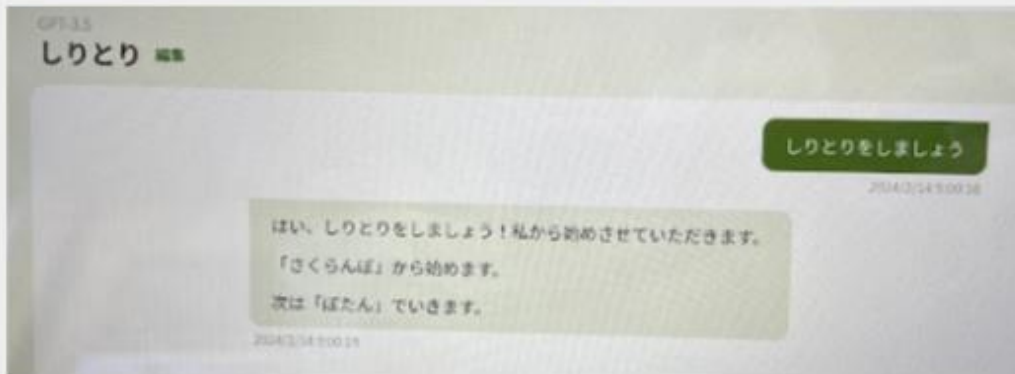
小・中・高

校務 授業

みんなの生成AI

テキスト生成、画像生成、動画生成

実践タイトル:みんなのコード「みんなで生成AIコース」を使ってみた



【パイロット的な取組の段階】

②使い方を学ぶ段階

【実践概要】

みんなのコード提供の「みんなで生成AIコース」を使用し、生成AIを体験する。

【入力したプロンプト】

- ・「しりとり」をしましょう。
→生成AI「では、私からいきます。「ぼたん」
- ・「宇宙人はいますか？」
→生成AI「宇宙人はいません」
「いる可能性は少ないです。」
「実際に確認されていません」
など

実践のふり返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)

【成果】実際に触らせることで、対話型生成AIのことについて体験(しりとりのルール。曖昧な質問には曖昧な答えしか出ない等)ができた。

【課題】質問の内容(プロンプト)等に関しても、今後継続して指導する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

<校務利用> ③「総合的な学習の時間と内容とSDG'sの関連目標」

校種	小・中・高	校務 授業	ChatGPT, Bing, Bard テキスト生成, 画像生成, 動画生成	実践タイトル: 総合的な学習の時間の内容とSDG'sの関連目標
----	-------	-------	---	---------------------------------

You
小学校高学年のキャリア教育で、SDG'sの項目に当てはまるものは何ですか？

ChatGPT
小学校高学年のキャリア教育においてSDGs（持続可能な開発目標）に関連する内容は、以下のような項目が考えられます。

- 目標4「質の高い教育をみんなに」: キャリア教育は、生徒たちに自分の将来について考え、さまざまな職業について学ぶ機会を提供します。この目標は、教育の質の向上を目指しており、生徒たちが自分たちの将来のキャリアや職業を探索することを奨励します。
- 目標8「働きがいも経済成長も」: この目標は、持続可能な経済成長と人間にやさしい雇用を促進します。キャリア教育は、生徒たちに、社会に貢献し、自分自身の生活を豊かにする仕事を見つけることの重要性を教えることができます。
- 目標12「つくる責任つかう責任」: 持続可能な消費と生産のパターンを促進するこの目標は、キャリア教育を通じて、生徒たちに環境に配慮した生活や仕事の選択について学ぶ機会を提供します。
- 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」: この目標は、持続可能な開発のためのグローバルなパートナーシップを促進します。キャリア教育は、生徒たちに国際的な視点を持ち、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々と協力する方法を学ぶ機会を提供します。

これらのSDGsの目標は、生徒たちに将来のキャリア選択において、社会的な責任と持続可能性を考慮する価値観を教える上で重要な役割を果たします。

【パイロット的な取組の段階】
④ 日常使いする段階

【実践概要】
小学校3年～6年までの総合的な学習の時間の内容とSDG'sの各目標の関連を調べた。

【入力したプロンプト】
・小学校6学年の総合的な学習の時間の「平和学習」とSDG'sの関連目標は何ですか？

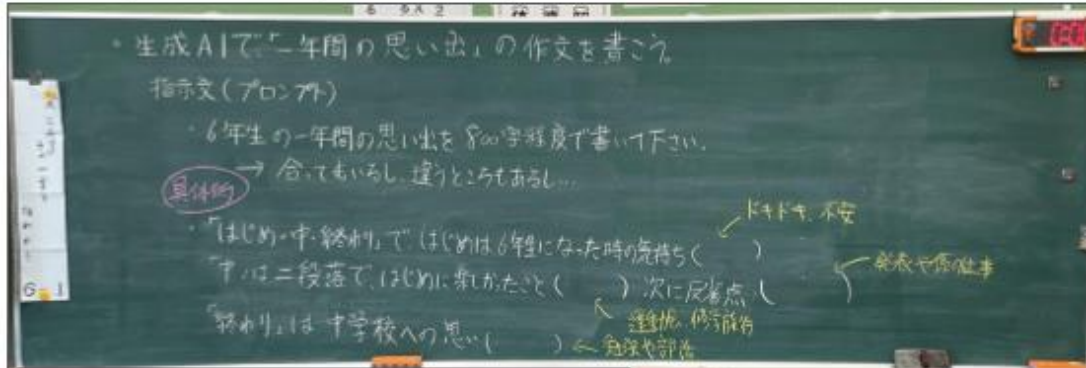
実践のふり振り返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
【成果】SDG'sの関連目標とそれに対する具体的な説明が記載されている。
【課題】表現が難しい内容もあるので、「小学生にも分かりやす表現」や「3年の地域を知ろう」など具体的内容を入力する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

<校務利用> ③「一年間の思い出：作文利用」

校種	小・中・高	校務	授業	みんなの生成AI テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル: 対話型生成AIを授業で活用(国語)
----	-------	----	----	------------------------------	---------------------------



(はじめ) 6年生になったときの気持ちは、とてもワクワクしていました。小学校最後の学年であり、新しい挑戦や成長の場でもあることに期待と緊張が入り混じっていました。友達と一緒に新しいクラスへ移動する瞬間は、未知の世界への一歩を踏み出す感覚がありました。

(なか) この一年間、たくさんの楽しいことがありました。クラスメイトとの笑い合いや、友情を深める時間はとても楽しかったです。遠足や学校行事では、みんなで協力して活動することで、一体感を感じることができました。また、新しいことに挑戦する機会もあり、自分の成長を実感することができました。

一方、反省点もありました。時には宿題を忘れてしまったり、授業に集中できなかったりすることがありました。自分自身に対してもっと責任を持ち、取り組むべきことに真剣に向き合う必要があると感じました。これからの中学校生活に向けて、反省点を改善していきたいと思っています。

生成AIの考えた文章を自分が半書きしを入れて、簡単に作文を書けるということがすごいと思ったけれど、生成AIの使い方によって、出てくるものも違うのかなと思いました。

生成AIは3000字の文章を付けてすごいです。

800字を早く書いてくれてすごいです。

生成AIは、内容をより詳細に指定することで、その指定に合った文章を作ってくれて、自分で書くよりも早く作成できるということを知って、楽しい、と思った。

【パイロット的な取組の段階】
③各教科等の学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
一年間の思い出の作文の土台を生成AIを活用して作成し、プロンプトの重要性を実践を通して学ぶ。
生成AIが作成した文章を添削し、よりよい文章にする。

【入力したプロンプト】
・6年生の一年間の思い出を800字程度で書いてください。
→ありきたりな文章
・「はじめ・なか・おわり」で、「はじめ」は、6年生になった時の気持ち(どきどき)。「なか」は2段落構成で、最初は楽しかったこと(修学旅行)次は反省(あいさつができなかった)。「おわり」は中学校へ向けての期待(勉強や部活:バスケット部)。
→より具体的な内容
※()内は、各自の具体的な内容

実践のふり返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
【成果】たたき台を生成AIに作成してもらうことで、作文が苦手な児童も意欲的に活動できた。
【課題】プロンプトによって、内容が大幅に変わるので段落指定や各段落の内容等具体的なプロンプトを考える必要がある。